

慶應志木会会報

慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)

1995 (秋・冬号)



•vol. 14

収穫祭が残った!!

前回の志木会報で皆様にお伝えした「収穫祭の名称変更に関する問題」は、下記の通り学校側より説明があったので、ここに掲載いたします。

93年度までの**収穫祭**の反省として、「運営、内容共に難有り」と学校側が判断し、翌年以降の**収穫祭**を継続するべきかどうか、教員会議で検討した。

その結果、「費用がかかり過ぎる」「使途に問題がある」「決算が明確でない」「イベント、展示の企画に問題がある」「後夜祭の私物化が見受けられる」等の改善が望めれば継続しても良いとの結論に達した。そこで、93・94年度の2回に渡り学校指導の下に改善を重ね、本年度が仕上げの年度と位置付けられていた。

一方生徒側は、本年2月より生徒会の呼び掛けにより自発的に一般生徒による準備委員会が発足し、4月末にかけて10回におよぶ討議を重ね内容を詰めていった。5月には準備委員会は解散し、選挙による実行委員長の下に実行委員会が発足し、準備委員会の討議を踏まえ、活動を開始した。5月26日にメトロポリタンホテルにて配布された文章は、準備委員会によるものであった。

これに対しOB諸兄より貴重な意見や経験談等多数学校に寄せられた。この結果今年**収穫祭**の名称が残りました。この場を借りて御礼申し上げます。

ありがとうございました。

FROM SHIKI

●志木だより

- 6月2日(金) 学部説明会 経済学部・商学部
 3日(土) 学部説明会 文学部・理工学部
 PM: PTA総会
 10日(土) 部長・監督・コーチ会議
 15日(木) カルガモ12羽管理棟下の用水池
 で卵からかえる。
 29日(木)~7月4日(火) 第1回テスト
 7月5日(水) 3年湘南藤沢見学会・1,2年歌舞
 伎教室
 6日(木) 第71回志木演説会『人間の心と
 科学技術の夢』安西祐一郎理工
 学部長
 7日(金)~11日(火) クラスマッチ
 14日(金) ポリショイ・バレエ NHKホ
 ール 『白鳥の湖』
 17日(月) 父母会
 18日(火)~9月2日(土) 夏季休暇
 9月2日(土) カルガモ全羽巣立つ
 27日(水)~10月2日(月) 大宮そごう 私学
 フェア参加
 6日(金)~8日(日) 1年研修旅行(箱根)
 7日(土) 本校見学会(普通部)
 9日(月)~13日(金) 3年見学旅行前班
 (北海道) 然別・川湯・ウトロ・
 層雲峡
 10日(火)~14日(土) 3年見学旅行後班同上
 12日(木)~14日(土) 2年研修旅行(北陸)芦
 原・室堂
 20日(金) 本校見学会(中等部)
 26日(木) 理工学部見学会(2・3年希望者)
 28日(土)、29日(日)、30日(月) 慶早戦
 11月4日(土)、5日(日) 収穫祭
 7日(火) 医学部見学会
 24日(金)~29日(水) 第2回テスト

- 12月6日(水) マラソン大会(森林公園 10Kコ
 ース)
 8日(金) 第72回志木演説会 山岳写真
 家岩橋崇至氏 1963年志木高
 卒 志木市民会館ホール
 16日(土) 父母会
 18日(月)~1月9日(火) 冬季休暇

■今年度いっばいで3人の名物先生が定年を
 お迎えになる。国語科の三田先生、篠田先生、
 そして外国語科の斎藤先生がその方々で、三
 田先生はS27年度から、斎藤先生はS33年度
 から、篠田先生はS39年度から教鞭をとって
 来られたので、直接授業を受けられた卒業生
 も多いと思います。今後益々のご発展とご健
 勝を祈ります。

■今年度も亦楽会(15期)を始めとして21期
 (5月17日アルカディア市ヶ谷)、23期(7月29
 日帝国ホテル三田クラブ)、22期(11月25日東
 京 Hilton ホテル)などの同期会が盛んに開
 催されている。22期の同期会の折りには同じ
 ホテルで結婚披露宴を行っていた35期の大橋
 君の仲間達(バスケット部の面々)が新郎・
 新婦と共に乱入?して大騒ぎ。あのなつかし
 い♪国民のタバコはシンセイ~の歌を披
 露するなど大盛会でした。尚、25期は1月27日
 に上野のホテル COSIMA で開催のもよう。

■このところ新聞部が県内の新聞コンクール
 で優秀賞をもらったりして堅実なところをみ
 せている。収穫祭号でも12ページの豪華版で
 ある。その中の『卒業生から見た志木高』の
 アンケート〈志木高生活の中で強く印象に残
 っているもの〉に1位友人、2位収穫祭、3位
 部活、4位先生、5位研修旅行とある。

■収穫祭展示にクラス参加した2C（担任後藤）では“小さな芸術館”というテーマで活躍する先輩たちを取りあげた。

- 17期 吉川 潔 美術工房 人形制作
 1期 井上栄一 ピアニスト 和洋女子大
 17期 永谷義篤 アルプス音楽 チター奏者
 41期 松田 浩 絵画 経済学部卒
 13期 岩橋崇至 山岳写真家
 16期 吉田 進 作曲家
 28期 大館 信 ラテン打楽器奏者
 13期 岩名雅記 現代舞踏家
 15期 星野健一 フリーカメラマン
 17期 生江雅則 (エム・ナマエ) 画家・絵本作家 (順不同)

■絵画寄贈

エム・ナマエ氏より30号（クレパス）2点
 松田浩氏より130号（アクリル）
 上記2氏から本校に貴重な作品の寄贈があった。

■来年度もまた多くの内部進学者を迎える。
 受験生への対応で志木高は頭が痛い。

(文責 伊藤明治郎)

第48回収穫祭は、11月4・5日の素晴らしい秋空の下、約3,500人の入場者を数える立派なものとなりました。

特にセピア色の入場門は、アメリカ西部開拓時代の建築物をイメージした巨大なもので、今年のテーマである“挑戦”という言葉を象徴するに十分なものでした。構内は、ビリー・ザ・キッド館、ワイアット・ア

ープ館、マーベリック館（以上ホームルーム棟）、ロデオ館（体育館）、許されざる者（理科棟）、保安局（教職員棟）などが配され、本格的なバーを場内案内所にした凝った演出が評判を呼んでいました。イベントについては、各音楽系文化部の演奏会は勿論、「招待会議」（春日部女子・川越女子・星野女子・獨協埼玉・城北埼玉・西部文理・山村国際と慶應志木の各高校生生徒会幹部によるシンポジウム）、「荒野の七展示」（中夜祭のことで、主力展示によるデモンストラーション）、「後夜祭」などがあり、塾内外を問わない盛んな交流が行われていました。展示は例年の「お化け屋敷」や「フイーリングカップル」、「占い」などに加え、「バーチャ共学」、「縁日」、「小さな芸術館」といった創意工夫のあるものが目立ち、あらゆる世代に対応できる楽しい内容でした。

さて今年の収穫祭はその開催にあたり、大きな節目を迎え、例年に比べてより多くの討議を重ねました。時には高校生にとってはその能力を超えるかと思われる問題もありましたが、実行委員会の面々は果敢に取り組み、遂には生徒一人一人が自身の手によって、心に「収穫祭」を刻んだのです。ここに志木会会員各位のご協力に感謝を申し上げると共に、この頼もしく爽やかな在校生に拍手を送りたいと思います。

収穫祭顧問教諭 河野文彦

同期会だより

6期

去る'95年9月22日(金)の夕、皇居前パレスホテルにて第6期の同級生24名と恩師3名が集い、楽しい同期の会を開催しました。

当日は遙々岐阜市から高木武美君も馳せ参じ、老恩師奥井、高山、建部の先生方と気分だけは未だ若い旧生徒がグラスを片手に楽しく語り9時まで2時間半を盛況のうち過ごし、散会しました。今回は'97年秋に開催の予定です。奮って同期の方はご参加ください。(当日の写真同封)

追伸 同期の石田保一君が芝パークホテルの社長に就任しました。以上6期近況をお知らせします。

(6期 真乃信裕記)



11期 遊志会

D組の幹事さんご苦労様でした。

去年の「新年会」は唐須教光君の推薦もあり、慶応三田キャンパスのファカルティクラブで夫

人、家族も同伴で多数の53名が参加し、和気あいあいにスタートし、この一年7回の行事も無事打ち上げとなりました。

何ととっても気心が知れた同期の友人たちと集まって交遊を深めるのは一番楽しいもの。今後も夫人、ご家族同伴で奮ってご参加下さい。

昨年のD組幹事の皆さんには大変面白い企画を考えて頂きお陰様でスムーズに終了しましたこと、厚くお礼をいいたと思います。

さて、今年は理工系のE組にバトンタッチし幹事を増山、相沢、山口(馨) 荒生、称原各君にお願いすることになりました。楽しい企画を考えてくれることを期待しています。

おわりに、昨年10月15日の連合三田会では40年卒が中心になりましたがその際は皆さんに種々のご協力を頂き誠に有難うございました。当日は晴天に恵まれ良き思い出の1ページとなりました。当紙面をかりてお礼を申し上げます。

(馬淵祥宏記)

平成7年度の幹事を終えて

最近、1日24時間が、20時間位に感じられる程、月日の経つのが早くなったように思われなりません。他方、50才を過ぎたのに、皆さんに会うと直ぐに16才の高校生に戻るといふ不思議な気分させてくれるのが、この遊志会の良さではないでしょうか。今年はD組の頭脳優秀な(?)面々が集まって素晴らしい催しをしようとして何度か企画会議を重ね、格調高く、優雅な会にしようとする様々なアイデアを出し合いました。

先ず、4月の初めに、隅田川の舟による川遊びと桜見物(日頃の行い良く満開でした)に始まり、7月には初めて鑑賞した方が多かった日本伝



平成7年の「新年会」の時の写真です。平成8年の「新年会」は2月22日に行います。

統文化香り高い納涼能の見学と三田クラブでの楽しい語らい、又、11月には松本講師による地震保険に強くなる勉強会も兼ねて両国の270年の伝統を誇る猪料理の「ももんじゃ」で猪鍋、鹿の刺身、鹿のステーキ、狸汁等の変った料理に舌鼓をうちながら亥年の最後の会を心ゆくまで楽しみました。

最後に、御参加頂いた皆様には幹事一同より感謝申し上げます。ではE組の幹事の皆さんバトンを渡しますのでより一層素晴らしい会を企画して下さい。(磯村記)

平成7年D組幹事
チーフ

川瀬忠夫 細谷勝庸 服部光伸 磯村吉孝

15 期

「第17回亦楽会 (15期) 開催」

95年度の亦楽会は、11月11日勝倉総幹事の下、帝国ホテル内三田倶楽部にて、鐵野校長ほか、久しぶりの広瀬先生(信州大)を含め40数名が集まりました。奥井先生の「微分・積分原理」の講義は大変わかりやすく、学生の頃にこのような授業であればもう少し数学が好きになっていたとの声が多く聞かれました。新保先生の歌唱力あるオペラ「ドン・ジョヴァンニ」も好評でした。96年度は栗原総幹事(A組)の下、11月9日(土)開催予定です。(倉田記)



22 期

二八会は、11月25日(土)東京ヒルトンホテルにて、50名程の仲間が多数集まって、今回の同期会を開催しました。特に今回は、伊藤先生、大館先生、大谷先生、後藤先生、新保先生、高山先生、建部先生、野口先生のご出席をいただき、大いに盛り上がりました。私達が高校生の頃、先生方はまさに今の私達の年代もしくはそれよりも若く、お互い血気盛んでしたので、数多くの思い出の一つ一つが印象深く、あっという間にタイムスリップしてしまいました。

又、同期の名簿を充実させる為、今後各組2名のクラス幹事を決め、年度ごとに2名のクラス幹事がもち回りで企画を立て、残りの幹事がサポートしていくことになりました。同期の皆さんのご協力をお願いします。最後に残念ながら、訃報のお知らせです。去る11月に西室 順君が永眠いたしました。ご冥福をお祈りします。

(金子記)

23 期

7月29日(土)、三田クラブ(帝国ホテル内)にて、卒業後2回目の同期会が開催されました。我々ほとんどが厄年を迎え丁度良い節目でもあり60名近い諸君が集まり盛大のうちに終了致しました。懐かしい先生方にもご参加いただきあっという間の3時間でした。

会場はほとんど学生時代に逆もどりし志木高の良さを実感した次第です。ところであまりの盛況さに幹事は写真を撮るのも忘れてしまいました……。(谷口記)

写真部OB会

10月26日に幹事会を行い役員選出、規約を決定した。次回より天文クラブと合同で毎年幹事会を行い(平成8年秋)3年毎に総会(平成9年2月)を行う予定です。

天文クラブ OBの諸君は、御連絡下さい。

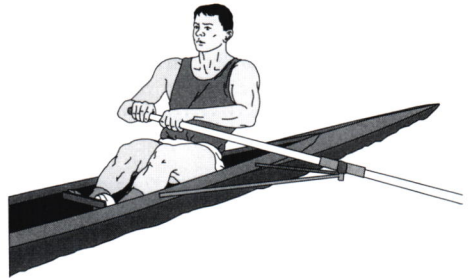
事務局 14期 今村 048-854-5744

体育会NOW | 第1回

今回よりの新シリーズ。春・夏号は文化部、
秋・冬号には体育会の近況をお伝えいたします。

端艇部近況 現部長 中地 譲治

ストップウォッチを手にした野口先生と、賞状に筆を揮っておいでの高山先生にお会いして、太古の志木についてお伺いしていると、私も当時生徒であったらなあという気持ちになってきます。その記録室からは三色旗模様のわが校のオールが、水しぶきをあげてゴールを過ぎていきます。本年も暑い夏の米子のインターハイに、晩秋の寒い河口湖畔での関東選抜にも出場を果たしましたが、実に選手達は自然です。のびのびしています。こんなところが伝統の強みだろうと思います。部員数も合宿する場所に困るほど増加して、この伝統の前途も安泰です。監督は鍵山(34期)から水井(36期)にこの秋に交代しました新監督のもとで、ますます選手達はのびのびと活躍してくれることでしょう。まずは3月の全国選抜をめざして、冬の苦しい練習に耐えていきます。是非とも散歩かたがた戸田公園のコース伝い、応援にいらして下さい。

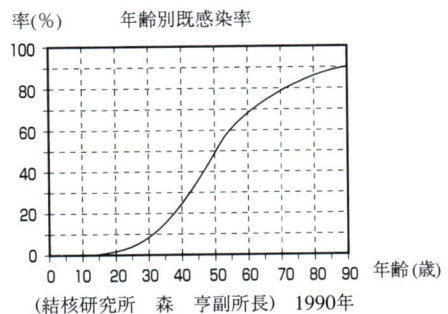


中年健康談 | 第1回

今回よりの新シリーズ。志木会会員の
医師からのミニ通信。

結核予防会複十字病院 呼吸器内科 吉森浩三 (23期卒)

なにか疾病に関して、アドバイスをということなので、私は結核についてお話ししましょう。ここ数年の結核患者数の動向をみると、患者の減少傾向が鈍化してきています。結核撲滅のためには個々の結核に対する認識が必要です。結核とは、結核菌によって起こる感染症です。結核菌が結核患者の咳の中に混じり、飛沫となって空中を漂い、これを他の人が吸い込むことによって感染します。初期症状は、風邪と似ており、長びく咳、長びく微熱、長びく倦怠感、痰がでる、体重減少、胸痛などです。結核は過労、睡眠不足、栄養不足により体力や抵抗力が弱まった時、発病します。診断にはX線検査と細菌学的検査があります。結核は、早めに正しく治療すれば薬で治る病気です。以上のようなことから健康の自己管理はもとより、年一回は健康診断を受けることをお勧めします。



志木会レポート

・平成7年度の慶應志木会役員につきましては、前回発行の第13号に掲載いたしました。その中で新会員となります45期の幹事につきましては近江賢介君を指名いたしました。事務局の都合により小山一君に変更させていただきますのでご了承願います。

・第2期（平成5年度～平成9年度）の維持会費の入金状況につきましては次のとおりとなっています。未納の方におかれましては趣旨をご理解の上、ご協力をよろしく願います。

慶應志木会 維持会費入金状況

(平成7年11月30日)

	在籍者数 名	会費払込者 名	払込率 %		在籍者数 名	会費払込者 名	払込率 %
1	94	31	33.0	22	270	58	21.5
2	60	14	23.3	23	271	57	21.0
3	48	7	14.9	24	267	56	21.0
4	45	17	37.8	25	262	74	28.2
5	106	31	29.2	26	268	48	17.9
6	85	30	35.3	27	249	32	12.9
7	98	27	27.6	28	248	45	18.1
8	94	31	33.0	29	277	38	13.7
9	116	30	25.9	30	262	63	24.0
10	196	71	36.2	31	253	32	12.6
11	218	67	30.7	32	262	36	13.7
12	202	62	30.7	33	244	27	11.1
13	212	57	26.9	34	265	44	16.6
14	195	50	25.6	35	266	43	16.2
15	259	73	28.2	36	258	42	16.3
16	260	70	26.9	37	338	49	14.5
17	265	91	34.3	38	250	43	17.2
18	261	54	20.7	39	282	54	19.1
19	263	63	24.0	40	249	58	23.3
20	260	82	31.5	合計	8,637	1,919	22.1
21	259	62	23.9	平均	216	48.0	22.2

- (注1) ・在籍者数はダブリ（約100名）及び死亡等を含む。
 ・振込者で無記名者あり。
 ・ダブリ者入分両期とも入金扱い。

MESSAGE

●平成7年度慶應志木会の収支状況につきましては12月11日(月)に開催されました世話人会において次のとおり財務委員より報告されました。

平成7年度 慶應志木会事業収支状況

(95.04.01—95.11.30)

科 目	金 額	科 目	金 額
新 入 会 費	5,000	会 報 費	1,688,310
名 簿 収 入	10,000	会 議 費	819,040
広 告 収 入	0	式 典 費	68,000
預 金 利 息	240,326	人 件 費	693,600
物 販 収 益	2,056	交 際 費	34,390
打 上 会 費	225,000	収 穫 祭	500,000
会 費	2,080,000	事 務 費	98,618
次 期 会 費	1,990,000	通 信 費	65,620
預 り 金	290,000	振 込 手 数 料	17,304
(未 回 答 分)		名 札 代 金	93,719
寄 付 金	360,000	寄 付 費	0
二 重 入 金	210,000	パソコンソフト等	316,693
(返 却 分)		会 費 返 却	210,000
収 入 計	5,412,382	支 出 計	4,605,294
前 期 繰 越 金 (95.4.1)	24,720,155	次 期 繰 越 金 (95.11.30)	25,527,243
合 計	30,132,537	合 計	30,132,537

編 集 後 記

編集を担当し、はや4回。毎回特集を考えて来ましたが、そろそろネタが少なくなって参りました。そろそろ後輩にバトンタッチする時期です。20～30期の諸君是非参加を希望します。連絡は23期幹事まで。(T)

慶應志木会会報 1995(秋・冬) ●vol.14

平成7年12月30日発行
 編集・発行 慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)
 〒353 志木市本町4-14-1
 発行人 櫻井英太郎
 印刷 (株)精興社